

# THEO リアルアセット・ファンド (世界の実物資産中心)

## 運用報告書 (全体版)

第6期 (決算日 2023年1月31日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。  
さて、「THEO リアルアセット・ファンド (世界の実物資産中心)」は、2023年1月31日に第6期の決算を行いました。  
ここに作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/資産複合	
信託期間	原則として、無期限です。(設定日: 2017年3月1日)	
運用方針	「THEO リアルアセット・ファンド (世界の実物資産中心)」は、マザーファンド受益証券へ投資を行います。以下はマザーファンドである「THEO リアルアセット・マザーファンド (世界の実物資産中心)」の運用方針です。 ①主として世界の上場投資信託証券 (ETF) に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界の実物資産への投資と経済的に同様な効果を得る投資をすることを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。	
主要運用対象	ベビーファンド	THEO リアルアセット・マザーファンド (世界の実物資産中心) 受益証券を主要な投資対象とします。
	マザーファンド	世界の株式市場に上場されている投資信託証券 (ETF) を主要な投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	①上場投資信託証券 (ETF) への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①投資信託証券 (ETF) への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年1月31日 (休業日の場合は翌営業日) に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	



東京都千代田区紀尾井町1番3号

<照会先>

電話番号: 03-6629-7090

(受付時間: 委託会社の営業日の9:30~17:00)

ホームページ: <https://www.money-design.com/>

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分 込 配 金	期 騰 落	中 率		
	円	円		%	%	百万円
2期(2019年1月31日)	9,790	0	△ 0.2	100.0	44	
3期(2020年1月31日)	10,775	0	10.1	99.9	101	
4期(2021年2月1日)	10,365	0	△ 3.8	99.9	165	
5期(2022年1月31日)	12,677	0	22.3	99.6	270	
6期(2023年1月31日)	14,365	0	13.3	99.5	377	

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2022年1月31日	円		%	%
2月末	12,677		—	99.6
3月末	12,950		2.2	99.6
4月末	14,334		13.1	99.5
5月末	14,614		15.3	99.5
6月末	14,422		13.8	99.9
7月末	14,392		13.5	100.0
8月末	14,322		15.2	99.5
9月末	14,658		15.6	99.2
10月末	14,002		10.5	99.5
11月末	14,811		16.8	99.8
12月末	14,496		14.3	99.6
(期 末) 2023年1月31日	14,009		10.5	99.0
	14,365		13.3	99.5

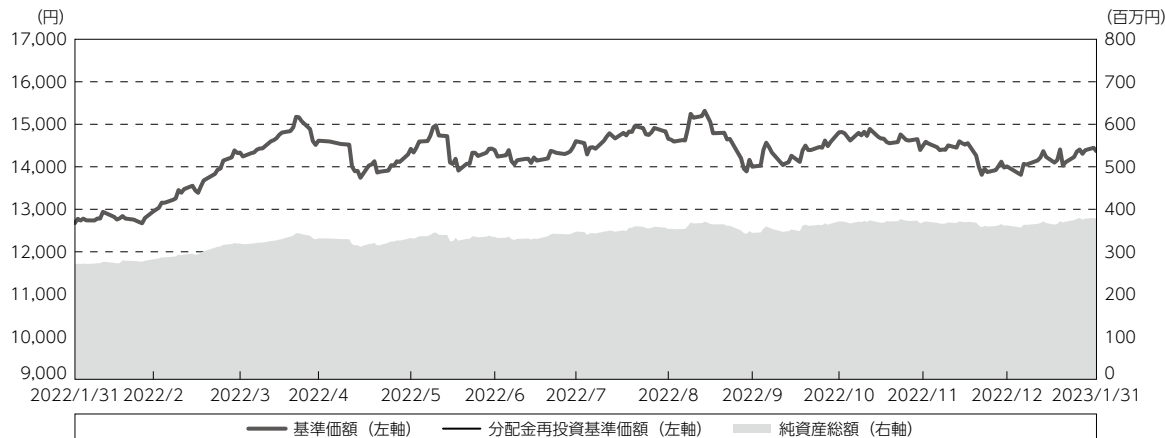
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

## ○運用経過

(2022年2月1日～2023年1月31日)

## 期中の基準価額等の推移



期首：12,677円

期末：14,365円(既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：13.3%(分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2022年1月31日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示していません。

## ○基準価額の主な変動要因

当期、当ファンドの基準価額は、+13.3%となりました。

当ファンドは、「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）」受益証券を組み入れることにより実質的な運用を当該マザーファンドにおいて行っております。

当ファンドでは為替ヘッジを行っていないことから、為替相場の変動が基準価額に反映されます。当期の為替市場は、日米の金利差が拡大したことや日米の中央銀行の政策スタンスの違いなどを反映して米ドル高円安となりました。このことが基準価額にプラスに寄与し、当期は貴金属、エネルギー関連、不動産関連、物価連動債のすべてがプラス寄与となりました。貴金属価格は、2022年2月から3月にかけてロシアによるウクライナへの軍事侵攻を受けたリスク回避的な資金が流入して上昇しました。その後は軟調に推移しましたが11月ごろから利上げペース減速期待などを受けて再び上昇しました。原油価格はウクライナでの戦争開始から6月ごろまで上昇し、その後は期末にかけて軟調な推移となりましたが、エネルギー関連株式は不安定な値動きながら好業績を好感して通期では上昇しました。インフラ関連株式も、エネルギーや輸送施設関連などを中心に上昇しました。一方で、欧米の金利上昇などを受けて、不動産関連株式、米国物価連動国債は米ドルベースでは下落しました。

## 投資環境

当期の世界株式市場および現物資産市場は、インフレ動向に注目が集まるなかで欧米各国中央銀行の金融政策に強く反応する展開となりました。

2022年2月にロシアがウクライナに軍事侵攻したことによりエネルギー価格が上昇しました。その後も、戦争の長期化とロシアへの経済制裁に伴うエネルギーや食糧などの供給網に与える影響が懸念材料となったことに加えて、中国におけるゼロコロナ政策やコロナ感染者の推移なども注目材料となりましたが、今期の後半は欧州での天然ガス備蓄が進んだことや世界景気への不透明感などを背景に原油及び天然ガスの価格は下落傾向となりました。

貴金属価格は、ウクライナ戦争開始後にリスク回避的な資金の流入により上昇しましたが、その後は主に米国の金利見通しにほぼ連動する形となりました。金価格と銀価格でややまちまちな動きとなる場面もありましたが、いずれも米国10年国債利回りが4%を超えた10月中旬ごろまで下落したあと、金融引き締め減速見通しに伴って上昇しました。

不動産関連株式は、ウクライナ戦争開始後に世界景気の先行き懸念などから下落し、その後は欧米の長期金利上昇を受けてさらに下落しました。期末にかけては金融引き締め減速見通しなどから上昇しましたが、期初の水準には届きませんでした。

## 当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）」受益証券への投資を通じ、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の実物資産等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界の実物資産への投資を通じ、投資信託財産の資産価値を保全しつつ、着実に成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

## 分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第6期
	2022年2月1日～ 2023年1月31日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,365

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### ○今後の運用方針

引き続き、「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）」受益証券への投資を通じ、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の实物資産への投資と経済的に同様な効果を得ることを目指します。定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 2 月 1 日～2023年 1 月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	62	0.440	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(51)	(0.357)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 8)	(0.055)	交付運用報告書等各種書類の送付、口屋内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 4)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.015	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 2)	(0.015)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	16	0.112	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	( 4)	(0.030)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(12)	(0.082)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	80	0.567	
期中の平均基準価額は、14,164円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

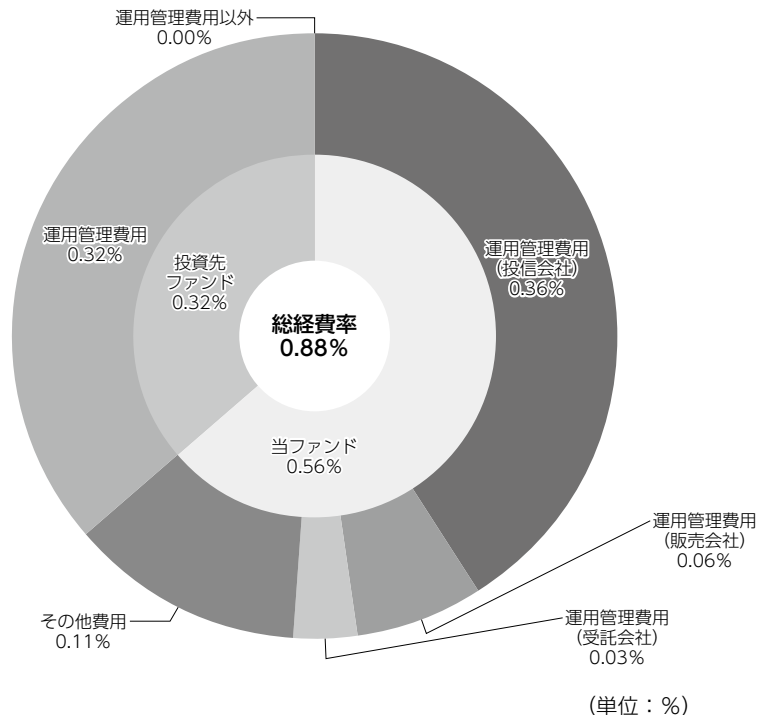
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.88%です。



総経費率(①+②+③)	0.88
①当ファンドの費用の比率	0.56
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.32
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2022年2月1日～2023年1月31日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）	千口 59,702	千円 87,434	千口 12,946	千円 19,074

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年2月1日～2023年1月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年2月1日～2023年1月31日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2023年1月31日現在)

## 親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）	千口 207,413	千口 254,169	千円 377,035

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2023年1月31日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）	千円 377,035	% 99.7
コール・ローン等、その他	1,323	0.3
投資信託財産総額	378,358	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）において、当期末における外貨建純資産（378,081千円）の投資信託財産総額（380,026千円）に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=130.47円。



## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年1月31日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	378,358,178
コール・ローン等	1,100,650
THEO リアルアセット・マザーファンド （世界の実物資産中心）（評価額）	377,035,644
未収入金	221,884
(B) 負債	1,322,534
未払解約金	323,438
未払信託報酬	799,312
その他未払費用	199,784
(C) 純資産総額（A－B）	377,035,644
元本	262,463,814
次期繰越損益金	114,571,830
(D) 受益権総口数	262,463,814口
1万口当たり基準価額（C/D）	14,365円

（注）当ファンドの期首元本額は213,000,522円、期中追加設定元本額は64,107,141円、期中一部解約元本額は14,643,849円です。

（注）1口当たり純資産額は1.4365円です。

## ○損益の状況（2022年2月1日～2023年1月31日）

項目	当期
	円
(A) 有価証券売買損益	36,536,816
売買益	38,778,292
売買損	△ 2,241,476
(B) 信託報酬等	△ 1,867,695
(C) 当期損益金（A＋B）	34,669,121
(D) 前期繰越損益金	43,044,367
(E) 追加信託差損益金	36,858,342
（配当等相当額）	（ 29,440,019）
（売買損益相当額）	（ 7,418,323）
(F) 計（C＋D＋E）	114,571,830
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金（F＋G）	114,571,830
追加信託差損益金	36,858,342
（配当等相当額）	（ 29,618,250）
（売買損益相当額）	（ 7,240,092）
分配準備積立金	77,713,488

（注）損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

（注）損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注）損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）計算期間末における費用控除後の配当等収益（7,820,826円）、費用控除後の有価証券等損益額（26,848,295円）、信託約款に規定する収益調整金（36,858,342円）および分配準備積立金（43,044,367円）より分配対象収益は114,571,830円（1万口当たり4,365円）ですが、当期に分配した金額はありません。

## ○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

## ○お知らせ

該当事項はございません。

# THEO リアルアセット・マザーファンド （世界の実物資産中心）

## 運用報告書

第6期（決算日 2023年1月31日）  
（2022年2月1日～2023年1月31日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2017年3月1日）
運用方針	①主として世界の投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界の 実物資産への投資と経済的に同様な効果を得る投資をすることを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあ ります。
主要運用対象	世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券（ETF）への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

 お金のデザイン

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 純 資 産 額	投 証 組 入 比 率
		期 騰 落	中 率		
	円		%		%
2期(2019年1月31日)	9,892		0.3		100.0
3期(2020年1月31日)	10,946		10.7		99.9
4期(2021年2月1日)	10,587	△	3.3		99.9
5期(2022年1月31日)	13,019		23.0		99.6
6期(2023年1月31日)	14,834		13.9		99.5

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 証 組 入 比 率	信 託 純 資 産 額
		騰 落	率		
(期 首) 2022年1月31日	円		%		%
	13,019		—		99.6
2月末	13,304		2.2		99.6
3月末	14,732		13.2		99.5
4月末	15,026		15.4		99.4
5月末	14,836		14.0		99.7
6月末	14,812		13.8		99.8
7月末	15,037		15.5		99.6
8月末	15,101		16.0		99.2
9月末	14,432		10.9		99.4
10月末	15,272		17.3		99.7
11月末	14,955		14.9		99.4
12月末	14,460		11.1		98.8
(期 末) 2023年1月31日		14,834	13.9		99.5

(注) 騰落率は期首比です。

## ○運用経過

(2022年2月1日～2023年1月31日)

## 期中の基準価額等の推移

## ○基準価額の主な変動要因

当期、当ファンドの基準価額は、+13.9%となりました。

当ファンドでは為替ヘッジを行っていないことから、為替相場の変動が基準価額に反映されます。当期の為替市場は、日米の金利差が拡大したことや日米の中央銀行の政策スタンスの違いなどを反映して米ドル高円安となりました。このことが基準価額にプラスに寄与し、当期は貴金属、エネルギー関連、不動産関連、物価連動債のすべてがプラス寄与となりました。貴金属価格は、2022年2月から3月にかけてロシアによるウクライナへの軍事侵攻を受けたリスク回避的な資金が流入して上昇しました。その後は軟調に推移しましたが11月ごろから利上げペース減速期待などを受けて再び上昇しました。原油価格はウクライナでの戦争開始から6月ごろまで上昇し、その後は期末にかけて軟調な推移となりましたが、エネルギー関連株式は不安定な値動きながら好業績を好感して通期では上昇しました。インフラ関連株式も、エネルギーや輸送施設関連などを中心に上昇しました。一方で、欧米の金利上昇などを受けて、不動産関連株式、米国物価連動国債は米ドルベースでは下落しました。

【基準価額の推移】



## 投資環境

当期の世界株式市場および現物資産市場は、インフレ動向に注目が集まるなかで欧米各国中央銀行の金融政策に強く反応する展開となりました。

2022年2月にロシアがウクライナに軍事侵攻したことによりエネルギー価格が上昇しました。その後も、戦争の長期化とロシアへの経済制裁に伴うエネルギーや食糧などの供給網に与える影響が懸念材料となったことに加えて、中国におけるゼロコロナ政策やコロナ感染者の推移なども注目材料となりましたが、当期の後半は欧州での天然ガス備蓄が進んだことや世界景気への不透明感などを背景に原油及び天然ガスの価格は下落傾向となりました。

貴金属価格は、ウクライナ戦争開始後にリスク回避的な資金の流入により上昇しましたが、その後は主に米国の金利見通しにほぼ連動する形となりました。金価格と銀価格でややまちまちな動きとなる場面もありましたが、いずれも米国10年国債利回りが4%を超えた10月中旬ごろまで下落したあと、金融引き締め減速見通しに伴って上昇しました。

不動産関連株式は、ウクライナ戦争開始後に世界景気の先行き懸念などから下落し、その後は欧米の長期金利上昇を受けてさらに下落しました。期末にかけては金融引き締め減速見通しなどから上昇しましたが、期初の水準には届きませんでした。

## 当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の実物資産等へ分散投資を行います。当ファンドの目的は、世界の実物資産への投資を通じ、投資信託財産の資産価値を保全しつつ、着実に成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

## ○今後の運用方針

引き続き、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の实物資産への投資と経済的に同様な効果を得ることを目指します。定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

## ○1万口当たりの費用明細

(2022年2月1日～2023年1月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 投 資 信 託 証 券 )	円 2 (2)	% 0.015 (0.015)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 投 資 信 託 証 券 )	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	0 (0)	0.001 (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	2	0.016	
期中の平均基準価額は、14,582円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2022年2月1日～2023年1月31日)

## 投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	ISHARES GOLD TRUST	4,149	140	2,869	96
	ISHARES TIPS BOND ETF	2,403	275	1,079	129
	ISHARES US REAL ESTATE ETF	4,630	432	1,004	96
	ISHARES GLOBAL CLEAN ENERGY	1,712	33	2,384	49
	ISHARES GLOBAL INFRASTRUCTUR	1,448	66	376	18
	ISHARES SILVER TRUST	7,820	149	3,380	66
	SPDR DJ INTERNATIONAL REAL E	2,203	64	99	3
	ENERGY SELECT SECTOR SPDR	919	71	2,306	180
小計	25,284	1,234	13,497	640	

(注) 金額は受け渡し代金。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年2月1日～2023年1月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2023年1月31日現在)

## 外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率	
	口 数	口 数	評 価 額			
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%	
ISHARES GOLD TRUST	15,654	16,934	617	80,509	21.2	
ISHARES TIPS BOND ETF	3,746	5,070	550	71,843	18.9	
ISHARES US REAL ESTATE ETF	6,063	9,689	879	114,782	30.2	
ISHARES GLOBAL CLEAN ENERGY	4,326	3,654	73	9,611	2.5	
ISHARES GLOBAL INFRASTRUCTUR	3,720	4,792	229	29,953	7.9	
ISHARES SILVER TRUST	6,378	10,818	234	30,571	8.0	
SPDR DJ INTERNATIONAL REAL E	2,494	4,598	131	17,169	4.5	
ENERGY SELECT SECTOR SPDR	3,389	2,002	178	23,283	6.1	
合 計	口 数 金 額	45,770	57,557	2,895	377,724	
	銘 柄 数 < 比 率 >	8	8	—	<99.5%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

## ○投資信託財産の構成

(2023年1月31日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 377,724	% 99.4
コール・ローン等、その他	2,302	0.6
投資信託財産総額	380,026	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（378,081千円）の投資信託財産総額（380,026千円）に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=130.47円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年1月31日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	380,026,281
コール・ローン等	2,301,392
投資信託受益証券(評価額)	377,724,889
(B) 負債	221,884
未払解約金	221,884
(C) 純資産総額(A-B)	379,804,397
元本	256,032,485
次期繰越損益金	123,771,912
(D) 受益権総口数	256,032,485口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,834円

(注) 当ファンドの期首元本額は207,497,116円、期中追加設定元本額は61,732,941円、期中一部解約元本額は13,197,572円です。

(注) 2023年1月31日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・THEO リアルアセット・ファンド（世界の实物資産中心） 254,169,910円
- ・THEOベスト・バランス・ファンド 1,862,575円

(注) 1口当たり純資産額は1,4834円です。

## ○損益の状況（2022年2月1日～2023年1月31日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	8,009,883
受取配当金	8,007,986
受取利息	1,897
(B) 有価証券売買損益	30,624,381
売買益	54,232,118
売買損	△ 23,607,737
(C) 保管費用等	△ 2,553
(D) 当期損益金(A+B+C)	38,631,711
(E) 前期繰越損益金	62,645,604
(F) 追加信託差損益金	28,741,797
(G) 解約差損益金	△ 6,247,200
(H) 計(D+E+F+G)	123,771,912
次期繰越損益金(H)	123,771,912

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

該当事項はございません。